

# お見積りにあたり下記の内容をご確認下さい。

- ① 現場所在地
- ② 窓ガラスの種類やガラスメーカー  
(エコガラス・複層ガラス・熱線反射ガラス・熱線吸収ガラス・スリガラス・型板ガラス  
フロストガラス・ガラスブロック・網入りガラス・熱線ガラス・フロートガラス等)
- ③ ガラス自体に歪み及び虹彩現象は無いかな(斜めから見て確認)  
※特殊ガラス等では、元々歪みや虹彩現象が出ている場合があり、施工後に気付いても遅い為。
- ④ 窓ガラスにキズは無いかな(作業中につけたキズでない事を確認)  
※キズが深いと表面張力で液が弾かれる場合有り。
- ⑤ 既存フィルムが貼ってないかな
- ⑥ ガラス面積×枚数=数量
- ⑦ 腰壁の高さ
- ⑧ ガラス最上部までの高さ(腰壁を含む)  
※状況により、脚立等使用する為。
- ⑨ 窓ガラスの結露は問題ないかな。又、室内温度(10度~30度内)・湿度(70%以下)は保てるかな。  
出来れば60%以下が良い。  
※結露している場合、作業を中止又は延期して下さい。  
又、温度・湿度が高い場合レベリングの問題や白濁する恐れがありますが、空調で管理できれば問題なし。  
但し、施工後も空調を1日は運転させます。(湿度管理をする為)
- ⑩ 水道・お手洗いの使用は可能かな。又、敷地内の駐車場の使用は可能かな。
- ⑪ 作業スペースの確保  
※移動及び脚立を使用する場合がある為、窓から1.5mは必要
- ⑫ 材料や脚立等の搬入経路は確保できるかな。又、エレベータの使用は可能かな。
- ⑬ トップコート中に発生する臭いや埃の問題  
※人体には問題ないが、臭いが抜けるまでに半日から1日程かかります。  
又、多少埃は必ず付着します。
- ⑭ 網入り・熱線ガラスの熱割れ  
※網とガラスの膨張が元々違う為、何も加工してない場合でも割れるケースがあります。
- ⑮ 出っ張り部(鍵等)及び消防シール等  
※出っ張り部は枠を取り、消防シールは養生しその部分は塗りません。
- ⑯ 現場写真等(下記が分かる写真等)
  - I. 全体が把握できる全景
  - II. 作業スペースとなる付近の状況
  - III. 腰壁の状態
  - IV. 窓部の状況
  - V. ブラインドの状況
  - VI. 図面があれば(立面図・平面詳細図・建具図)
- ⑰ 平日又は、休・祝日どちらでの作業になるかな

